

副都心と羽田空港をつなぐ新空港線を1日も早く

新空港線の早期整備に関する要望

日頃は、東京商工会議所の活動にご理解ご支援をいただき心より感謝申し上げます。東京商工会議所は23区に支部を持ち、各区においてまちづくりと産業振興に取り組んでいます。この度は、新空港線に関わる大田区および新空港線につながる路線を持つ目黒区、渋谷区、新宿区、豊島区の5支部連名で下記の通り新空港線の早期整備に関して要望いたします。

ラグビーワールドカップが成功裏に終わり、世界各国の日本への関心が深まりました。引き続き2020東京オリンピックパラリンピックが開催されることから、訪日外国人旅客者数を2020年に4000万人、2030年に6000万人とする2016年の政府目標が現実味を帯びてきました。

こうした背景から、国際都市東京として空港の高度利用や空港へのアクセスが重要課題となっています。羽田空港については、夜間の発着や再国際化などの高度利用が進み、都心へのアクセスも改善されてきましたが、その一方で新空港線については未だに着手されていません。

新空港線は、大田区内JR蒲田と京急蒲田駅の800mを結ぶ路線で、2000年の運輸政策審議会の答申では2015年度までに整備着手することが望ましいとされ、2016年には改めて、事業化に向けて関係する公共団体・鉄道事業者等において合意形成を進めるべきとされています。

新空港線を整備して東急東横線や東京メトロ副都心線などとの相互運転を行うことで、副都心である池袋、新宿、渋谷から羽田空港に直接つながります。その結果、副都心が連携して多様な魅力を創出しグローバルに展開することを誘導し、東京の面的な整備とさらなる発展を促進します。大田区、目黒区では利便性が向上し、蒲田、中目黒、自由が丘など拠点のまちづくりにも寄与します。広域に渡って、公共交通ネットワークの整備につながり空港アクセスが改善します。何よりも、事故や災害時における代替路線となることで都市機能の強化につながります。

新空港線は、東京の都市機能を向上し魅力を創出することができる整備が必要な重要な路線であり、豊島区、新宿区、渋谷区、目黒区および大田区のまちづくりと産業振興を促進するためにも一日も早い着手が求められています。

以上のことから、新空港線を早急に整備することを要望いたします。

以上